

東アジア言語文化学会 第8回大会プログラム（2024年度）

2月15日(土)

(以下に示す時間帯はすべて日本時間)

第一騰訊会議室

総合司会：楊玉玲（北京外国語大学講師）

9:20～9:30 開会の辞 呉川（本学会会長）

【基調講演】（講演：50分、質疑応答10分） *基調講演は第一騰訊会議室で行う！

司会：胡傑（国士舘大学講師）

9:30～10:30 松村文芳（神奈川大学名誉教授）

現代中国語助詞「所」の役割

10:30～11:30 杜改俊（北京外国語大学中国語文学学院教授）

昨日中国文人理想再現-解读《西厢记》中张生形象的意义

オンライン記念撮影（11:30～11:40）

☛ 昼食（11:40～12:55）

総会開催

11:40～12:55 第一騰訊会議室で総会を開催します。

第一会議室：476-4886-5696 パスワード：250215

第二会議室：588-0165-2706 パスワード：250215

午後

☛ 分科会別—論文発表・質疑応答（12:55～17:50）



第一騰訊會議室



【日中言語文化・文学研究】12:55~17:50

総合司会：楊華（大連大学）

司会：小田桐ジェイク（常葉大学）、閻瑜（お茶の水女子大学）

順番	時 間	発表者・所属	論文タイトル
1	13:00~13:35	閻瑜（お茶の水女子大学・講師）	中島端『支那分割の運命』における中国観と中島敦の創作への影響
2	13:35~14:10	亀井容（文教大学・院生）	日中古都における建造物の保全についての考察—平城宮跡の建築プロセスを事例に
3	14:10~14:45	望月裕道（広島大学・院生）	原爆詩における「表記」の変容と朗読文化—日本語詩と外国語詩を通して—
4	14:45~15:20	史蕊（広島大学・院生）	中国における太宰治文学紹介の〈興隆期〉に関する研究—2000年代後半以降への考察を通して
※ 休憩（15：20—15：30）			
5	15:30~16:05	小田桐ジェイク（常葉大学・助教）	日本近代文学と映画との関係——室生犀星の随筆を読む
6	16:05~16:40	高慧（北京工業大学・院生）	井上靖历史小说中的时空美学
7	16:40~17:15	張雯宇（中国人民大学・院生）	日本“民本主义”政治理念在近代中国的翻译与受容——以清末民初四报为例
8	17:15~17:50	龔智鵬（重慶外国語外事学院・講師）	今道友信对孔子思想的阐释与文化传播意义——基于三角互证法的研究

※ 発表は質疑応答を含めてお一人35分（発表25分＋質疑10分）です。時間を厳守してください。

※ 発表は前半と後半に分けていますが、司会は交代していただきます。



第二騰訊會議室



【日本語・日中比較研究等】12:55~17:15

総合司会：姚艷玲（大連外国語大学）

司会：張正行（吉林大学）、高野晃尚（中南大学）

順番	時 間	発表者・所属	論文タイトル
1	13:00~13:35	李雪萌（大連理工大学・院生）	基于对译语料库的“によって”被动句的翻译和对比研究
2	13:35~14:10	楊顔西（大連外国語大学・院生） 姚艷玲（大連外国語大学・教授）	日本語の「V-てくる」構文のアспект機能に関する考察—認知言語学的観点から—
3	14:10~14:45	高野晃尚（中南大学・助教）	ターミノロジー学的視点から見る語用論 関連術語の定義と使用-中国人日本語語 用論研究を中心に-
※ 休憩（14：45—14：55）			
4	14:55~15:30	張正行（吉林大学）	上代に於けるカス型動詞に関する考察
5	15:30~16:05	龐森（大連外国語大学・院生）	中国の日本語教科書における「と」「ば」「たら」「なら」条件表現の扱い方の考察
6	16:05~16:40	王梓博（大連外国語大学・院生）	ネットの謝罪広報の語用ストラテジーに関する中日対照研究
7	16:40~17:15	張歆越（明星大学・院生）	複合助詞「に対して」「にとって」「について」の習得に関する研究-中国語を母語とする日本語学習者を対象に-

※ 発表は質疑応答を含めてお一人 35 分（発表 25 分+質疑 10 分）です。時間を厳守してください。

※ 発表は前半と後半に分けていますが、司会は交代していただきます。

2月16日(日)

☞ 分科会別—論文発表・質疑応答、事務連絡、大会報告など(9:05～17:30)

9:05-16:40 分科会別発表

16:45-17:00 事務連絡(第一会議室に集合)

17:00-17:20 大会報告(各分科会総合司会者が担当)

17:20-17:30 閉会の辞 毛文偉(本学会会長代行)



第一騰訊会議室



【中国語教育・翻訳研究】9:05～12:15

総合司会：胡春艷(安徽科技学院)

司会：畢文濤(北京語言大学東京校)、単艾婷(公立小松大学)

順番	時間	発表者・所属	論文タイトル
1	9:10～9:45	荊瑤(山西大学・講師)	『論語』における「仁、義」の現代日本語訳の日中比較—諸橋徹次訳、宮崎市定訳と孔健訳、劉徳潤訳をめぐって—
2	9:45～10:20	胡傑(国士舘大学・講師)	現代中国語範囲副詞“都”の意味
3	10:20～10:55	単艾婷(公立小松大学・講師)	オーセンティックな説明テキストを題材とした中国語教科書の作成 —共通テーマに基づく「書き言葉」と「話し言葉」の学習連携の試み—
※ 休憩(10:55—11:05)			
4	11:05～11:40	柳宇星(日本大学・講師)	日本における中国語教育者養成課程のカリキュラムに関する研究—現状と課題—
5	11:40～12:15	畢文濤(北京語言大学東京校・講師)	初級汉语教学中动词“在”的教学设计研究

※ 発表は質疑応答を含めてお一人35分(発表25分+質疑10分)です。時間を厳守してください。



第二騰訊會議室



【日本語教育研究】9:05~12:15

総合司会：洪安瀾（閩南師範大学）

司会：松永源二郎（香港中文大学（深圳））、趙海城（明星大学）

順番	時 間	発表者・所属	論文タイトル
1	9:10~9:45	趙海城（明星大学・教授）	中国語を母語とする日本語学習者の作文使用語彙分析—北京日本語学習者縦断コーパス（B-JAS）を用いて
2	9:45~10:20	趙雨蒙（西安外国語大学・院生）	关于高中生日语阅读焦虑和自我调节策略的研究
3	10:20~10:55	姚偉麗（黒龍江大学・院生）	基于文化视角的《日语古典语法》课程混合式教学设计
※ 休憩（10：55—11：05）			
4	11:05~11:40	松永源二郎（香港中文大学（深圳）・副教授）	人工知能が創り出す新しい言語文化の未来
5	11:40~12:15	原華耶（広島大学・院生）	読解授業におけるアクティブラーニングの実践例

※ 発表は質疑応答を含めてお一人 35 分（発表 25 分＋質疑 10 分）です。時間を厳守してください。

☞ 昼食（12:15~12:55）



第一騰訊會議室



【日中比較研究】12:55~16:40

総合司会：喬穎（華東師範大学）

司会：何雪梅（リューネブルク大学）、高橋弥守彦（大東文化大学）

順番	時 間	発表者・所属	論文タイトル
1	13:00～13:35	高橋弥守彦（大東文化大学・教授）	中日両言語の重複表現について
2	13:35～14:10	彭申奥（大連外国語大学・院生）	ライブコマースにおける日中勧誘談話の対照研究—「勧誘部」に用いられる語用的ストラテジーを中心に—
3	14:10～14:45	羅娜（明星大学・院生）	日本と中国における謝罪言語行動の比較—「責任帰属」および「謝罪類型」の視点から—
※ 休憩（14：45—14：55）			
4	14:55～15:30	何雪梅（リューネブルク大学・講師）	日中独における依頼表現の対照研究
5	15:30～16:05	王云飞（大連外国語大学・院生）	日本の新聞報道における中国の特色のある術語の翻訳とその使用状況についての考察—「アジアインフラ投資銀行」を例として
6	16:05～16:40	高勝男（大連外国語大学・院生）	認知意味論による視覚虚構移動についての日中対照研究

※ 発表は質疑応答を含めてお一人 35 分（発表 25 分＋質疑 10 分）です。時間を厳守してください。

※ 発表は前半と後半に分けていますが、司会は交代していただきます。



第二騰訊會議室



【日本語研究】 12:55~16:40

総合司会：趙海城（明星大学）

司会：王瀟瀟（大連外国語大学）、楊玉玲（北京外国語大学）

順番	時 間	発表者・所属	論文タイトル
1	13:00~13:35	孫楊（揚州大学・副教授）	敬語の使用実態から見る尊敬語の「変貌」について——Yahoo 皇室ニュースに対するコメントをデータとして——
2	13:35~14:10	彭慧（東京都立大学・院生）	人称代名詞における動作主未表出の考察—『金閣寺』の日中対訳小説を資料として—
3	14:10~14:45	朱文婕（大連外国語大学・院生）	「NP1 に NP2 が VP」構文の使用実態の考察
※ 休憩（14：45—14：55）			
4	14:55~15:30	王瀟瀟（大連外国語大学・講師） 姚艷玲（大連外国語大学・教授）	日本の医療機関における「やさしい日本語」使用の談話分析
5	15:30~16:05	邱雅傑（遼寧師範大学・院生）	日本媒体中中国特色话语表记的历时性分析—以“一带一路”为例
6	16:05~16:40	沈春妍（大連理工大学・院生）	日中対訳コーパスに基づく「タナラ」条件文の計量的分析

※ 発表は質疑応答を含めてお一人 35 分（発表 25 分＋質疑 10 分）です。時間を厳守してください。

※ 発表は前半と後半に分けていますが、司会は交代していただきます。

司会：小田桐ジェイク（常葉大学）

16:45-17:00 事務連絡 潘藝梅（第一会議室集合）

17:00-17:20 大会報告（各分科会総合司会者が担当）

17:20-17:30 閉会の辞 毛文偉（本学会会長代行）

※本プログラムは今後多少変更する場合があります。